

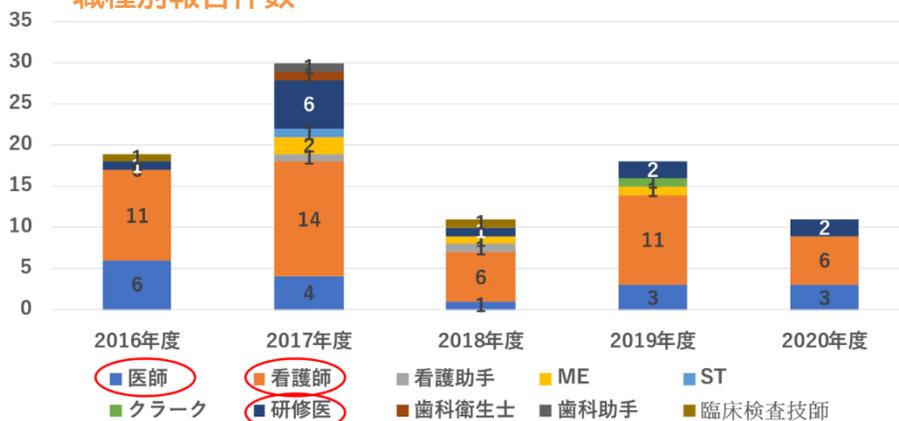


活動報告



針刺し事故で最も恐ろしいことが「血液を媒介した感染」です。
感染する恐れのある疾患は、おもにB型肝炎、C型肝炎、HIVなどです。

職種別報告件数



当院の2021年度(2021.4.1～2021.10.31)では、医師5名、看護師3名の針刺し事故報告がありました。なかにはリキャップなど、マニュアルを遵守することで防げた報告もありました。

	時期	職種	状況
針刺し	2021年4月	医師	胸骨圧迫中の動脈採血時
	2021年5月	医師	シース挿入時
	2021年6月	看護師	インスリン針のリキャップ時
	2021年7月	医師	動脈血採血直後の針付検体を運搬中
	2021年7月	看護師	使用後の縫合針を操作中
	2021年8月	医師	動脈血採血時
	2021年10月	看護師	リキャップされた針がキャップを貫通
	2021年10月	医師	リキャップ時
体液暴露	2021年5月	看護師	検体のエア抜き時に血液が眼球付近まで飛散



針刺し事故を防ぐために！！

- ・リキャップしない
- ・必ず針捨てボックスを持っていく
- ・8割以上つまった針捨てボックスは使用しない



当院では、職業関連感染対策としてB型肝炎ワクチンの接種を実施しています。2021年度は血液体液暴露のリスクが高い医師、看護師、臨床工学技士、検査技師を対象に計109名の接種を行っています。

針を取り扱うときはマニュアルを遵守し、慎重に実施しましょう！

感染管理認定看護師 矢田真理



認定看護師の豆知識



がん予防について

平成29年10月に策定した第3期がん対策推進基本計画に基づき「がん予防」「がん医療の充実」「がんとの共生」の3つの柱が掲げられています。その中の「がん予防」についてお話します。

5つの健康習慣「禁煙」「節酒」「食生活」「身体活動」「適正体重の維持」を実践しましょう。実際に「禁煙」「節酒」「食生活」「身体活動」「適正体重の維持」の5つの生活習慣に気をつけて生活している人とそうでない人では、この5つの健康習慣を実践する人は、0または1つ実践していた人に比べ、男性では43.0%、女性では37.0%がんになるリスクが低かったという推計がされています。

今回は、5つの健康習慣のひとつ「節酒」について紹介します。

飲む場合は、純エタノール量換算で1日あたり23g程度までとしましょう。

がんのリスクが高くなる1日当たりの飲酒量

日本酒:1合、ビール大瓶(633ml)1本
焼酎・泡盛:原液で1号の2/3
ウィスキー・ブランデー:ダブル1杯
ワイン:ボトル1/3程度



自宅のみされる方が増えたと思いますが飲みすぎには注意しましょう。

がん薬物療法看護
認定看護師教育課程修了生
多賀 亜子

病棟ごとの勉強会 依頼受付中!

認定看護師会では病棟ごとの勉強会、研修の依頼を受け付けています。

既存のテーマでも、看護で困っていることなんでも結構です。

リクエストお待ちしております!



各分野電話番号



救急看護:村上 8863
慢性心不全看護:原谷 8394
感染管理:矢田 8623
皮膚排泄ケア:大西 8397
認知症看護:藤原 8667
嚥下・摂食障害:日向 8113
がん薬物療法:多賀 8845